

# 富士川第一、第二發電所工事

日本輕金屬株式會社 內 海 清 溫  
取締役電力建設部長

本工事の特異點は富士川の急流中に堰堤を築造するものなる故、第1に堰堤の根入を大にして倒壊を防ぐ事、第2に施工地點の流水多く普通の掘鑿の出來ぬ事、第3に工期を急ぐ事等の爲に、堰堤基礎に潜函工法を採用した事である。

## 富士川第一發電所

### 1. 計劃の大要

山梨縣西八代郡大河内村地内に於て、富士川を横斷して堰堤を築造し、左岸に取水口を設け、延長約17軒の隧道を通し、三條の水壓管を経て發電所に導き、發電後の水は、直に下流第二發電所へ導水せしむるものにして、既設上流波木井發電所運轉後の水は、波木井連絡サイホンにより、堰堤中を通し沈砂地後方に於て、本流よりの水流と合流せしむるものとす。

### 2. 水利關係大要

取水口の位置 (本流)山梨縣西八代郡大河内村大字帶金字榎島。

(波木井發電所放水)山梨縣南巨摩郡身延町大字波木井字宮の花。

使用水量 最大 66毎秒立方メートル。  
常時 39.45毎秒立方メートル。  
有効落差 69.88米  
發電力 38,200K.W.  
年發生電力量 314,554,100K.W.H.  
流域面積 3,045.4平方公尺

### 3. 水路工作物大要

#### 堰堤

構造 固定堰並可動堰部よりなり、コンクリート造り直線型。

敷幅 可動堰部 23米

固定堰部 27米  
堰高 4.5米

堤長 290米  
門扉 幅20米 高5米3門  
土砂吐門 幅7.5米 高5米2門

#### 取水口

構造 混凝土造り。  
最大水深 1.5米  
有効全幅 20.05米  
制水門 高4.8米 幅5.0米

